

平成28年度事務事業評価及び特定分野評価に係る改善計画書

事業名	子供会等集団資源回収事業奨励金				
担当課	環境課		課長名	城所 浩章	
事業の目的と実施内容					
目的	ごみの減量化と資源化の推進及び住民の環境美化意識の高揚を図る				
内容・方法	家庭から排出される有価物の回収(集団資源回収)及び地域に設置されている紙類再資源化収納庫の管理を行っている町内会、子供会等の地域の団体に対し、回収量に応じて奨励金を交付している ・紙類、布類、金属類、ビン類について、1回の回収量が300kg以上の実施団体に交付 集団資源回収(廃品回収) 4円/kg 紙類再資源化収納庫 2円/kg				
1 評価結果及び町の最終方針					
自己	改善	一次	改善	二次	改善
今後の方向性に係る意見等(最終)			評価結果を踏まえた所管課の対応案		
子供会以外の団体も資源回収の活動に取り組んでいる実態に鑑み、事業名称の変更や、より幅広い町民参加の促進などの改善を行うとともに、いっそうの環境教育・啓発による意識改革の促進など、資源化率を向上させ、焼却に係る処理費用の削減につなげてほしい。			事業名称の変更については、近年、子供会から行政区等に登録を変更するケースが見受けられるものの、現状では「集団資源回収」及び「紙類再資源化収納庫」ともに子供会の登録が最も多いため、従前のおりとしたい。より幅広い町民参加の促進については、既存の登録団体と地域が競合しないよう留意しながら、平成29年度までに文化団体やスポーツ団体に制度の周知や登録の呼びかけを行いたい。環境教育・啓発による意識改革の促進については、今後も町広報紙やホームページにごみの減量化・資源化を促進するための記事を掲載するほか、より一層、各種イベントでのPRや各行政区との連携による出前講座の実施に努めていきたい。		
町の最終方針					
改善	事業名称は当面現状どおりとするが、より幅広い町民の参加を促進するため、平成29年度までに、文化・スポーツ団体等に制度の周知、登録の呼びかけを行うとともに、町広報誌、ホームページ、イベント、出前講座などさまざまな機会を通じてPRを推進する。				
2 町の最終方針を実施するための具体的な方法					
項目名		時期(期限)	具体的な改善等の内容		
各種団体への制度周知及び登録呼びかけ		H29.1～	文化・スポーツ団体などへ制度の周知と登録の呼びかけを行う。		
町広報紙などへの掲載		H29.1～	町広報紙やホームページなどへ制度の周知や登録の呼びかけ及びごみの減量化・資源化を促進するための記事を掲載する。		
各種イベントや出前講座でのPR		H28.12～	各種イベントや出前講座において、制度の周知や登録の呼びかけ及びごみの減量化・資源化の意識啓発に努める。		
3 改善後の事業が目標とする成果					
指標の名称 ※原則として評価時と同一		単位	基準年度 (H27)	H28	H29
資源化率		%	24.83	26.4	26.5
目標とする成果の設定理由		資源化率の増加により、ごみの減量化、資源化が図られていることが把握できるため。なお、評価実施の際と同様、H27を基準年度とする。			
4 経費等の見込み					
			H28(決算見込)	H29	H30
事業費(予算) 単位:千円			1,327,232	1,322,000	1,337,000
概算職員数 単位:人			0.1	0.1	0.1

[illegible][illegible]